



# バイオパシー協会 会報

2010年5月 Vol.10



## Contents

ペットの体験.....	2・3	トピックス.....	4
-------------	-----	------------	---

バイオパシー協会は、「バイオパシー」という医療理論と実践方法の普及活動をしています。

# 今回はペットの体験をご紹介します。

## 田原道子さん(高知県土佐市在住)

右が我が家の大切な家族、三毛猫の「みーちゃん」です。人間の年齢でいうと100歳を超えたおばあちゃんですが、毎日元気一杯、毛並みも艶々です。私や主人の言葉も理解できるほど頭脳明晰です。夜8時の門限も毎日守っているのには驚かされます。

100歳を超えた今でも、こんなに元気なのは、私たち夫婦と一緒に毎日喜んで食べているバイオ・ノーマライザーのおかげでしょう！

食べ始めたのは「みーちゃん」が生まれた頃からで、かれこれ20年が経ちます。

バイオ・ノーマライザーには抗酸化、抗老化、その他色々な働きがありますが、「みーちゃん」の元気な姿を見ていると、本当にそれらの働きが実感できますね！



## 尾崎里子さん(徳島県阿南市在住)



我が家には大五郎、ミルクという、家族の一員のワンちゃんがあります。バイオ・ノーマライザーの容器を見せただけで、嬉しそうに尻尾を振りながら寄ってきます。

バイオ・ノーマライザーを使ったのは、耳に湿疹ができて痒そうにしている時に、スプレーしてあげたのが始まりでした。すると湿疹はきれいに治りました。

水などが掛ると、逃げたり嫌がったりするのが普通ですが、じっとして、むしろ気持ちよさそうにしています。

何かが違うと思い、食べさせてみました。薬や他の物は飲ませるのに苦労しますが、バイオ・ノーマライザーはおいしそうに食べます。

犬はしゃべれないし、正直です。犬たちが求めてくる姿を見て、これは安全な物、信頼できる物だと思いました。

ペットも大事な家族です。バイオ・ノーマライザーに出会えて感動です。



## 徳間寿美子さん(神奈川県横浜市在住)

家族の一員である、可愛い男の子3匹(サム・ブラッキー・ノア)と女の子1匹(モエ)のチワワと暮らしています。みんな元気一杯のヤンチャ、オテンバ、甘えん坊です。



愛犬たちがバイオ・ノーマライザーを食べ始めてから、約半年になります。

先日、一番年下のノアが開腹手術をしました。その後の経過を心配しましたが、とても早く治癒しました。その回復力には驚きました。

甘くておいしいようで、4匹とも毎日楽しみにしているかのように食べています。これからもバイオ・ノーマライザーを引き続き食べさせて、愛犬との生活を楽しくて行きたいと思います。

## 小堀公子さん(京都市左京区在住)

2008年11月、私の大切なパオ(フレンチブルドック♀、現在10歳8ヶ月)の左後ろ脚に「しこり」を見つけました。

検査の結果、悪性腫瘍と診断され、大きく切除すれば再発が防げると言われました。さんざん悩んだ末に左後肢断脚術を決断し、12月10日に手術しました。

3本脚になって約1年半が経過しました。もともと元気な子でしたが、手術後は癌に良いという物は全て試みてきました。今では就寝前にベッドに入ると、バイオ・ノーマライザーを催促するパオです。

長寿でギネスに載ることを、本気で目指しています。



# トピックス

4月9日から11日まで、バイオ・ノーマライザーの製造工程を視察するためにフィリピンのパパイヤ農場や工場を見学し、撮影してきましたので、その様子をご紹介します。

1本の木から製造に適した果実(拳大の未熟果)を1個だけもぎ取ります。

手の雑菌が果実に付着しないように、また、かぶれないためにゴム手袋をして収穫します。

収穫する時間もこだわりがあり、真夜中の真っ暗闇の中で、キャップライトの光のもとで作業する事もあるそうです。



工場全景



見学通路で工場長の説明を聞く



パパイヤは、衛生的な施設の中で発酵・熟成の時間をゆっくり過ごします。

## 発行：バイオパシー協会

〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川929-2

Tel 048-711-3455

Fax 048-688-1896

ホームページ <http://www.biopathy.jp>

平成22年(2010年)5月発行

発行責任者 小林 隆 1部200円

この会報は、会員の皆様にバイオパシー協会の活動目的である、医療情報の提供を目的として作成しています。商品の購入は自己責任でご決定くださるよう、お願いいたします。

この会報の著作権は、バイオパシー協会に帰属しています。いかなる目的であれ、無断で使用することを固く禁じます。